

「目指せ マイスター」プロジェクト

若者の技能離れ、ものづくり産業の人材の不足に対応していくためには、ものづくりに関する理解促進等が不可欠であることから、「ものづくりマイスター」を小中学校等に派遣し生徒等が優れた技能に接することによって、技能の素晴らしさやものづくりの喜びを体験し技能に対する興味・理解を深めることを目的に「目指せ マイスター」プロジェクトを実施します。

(1) 学校授業へものづくりマイスターを講師派遣

★学校の授業等へ「ものづくりマイスター」を派遣し、講義と「ものづくり体験」を行います。

- 対象者・・・小中学校等の生徒
- 実施職種例・・・建築大工（鉛筆立て、本立て）、建築板金（銅板打ち出し）、広告美術（ネームプレート）、陶磁器（ろくろ、絵付け）、和裁（ペットボトルカバー）、製麺（手延べそうめん）、義肢・装具（講話）、畳製作（ミニ畳）、造園（こけ玉）等
また、実施先の教師や保護者を対象とした「ものづくりの魅力」講座も実施します。

(2) ものづくりマイスターの事業所見学

★事業所の見学とともに、「ものづくりマイスター」の講義を行います。

- 対象者・・・小中学校等の生徒
- 実施例・・・製麺工場（南島原市）、陶磁器製造工房（波佐見町）など

※具体的な活用例が裏面に
ありますので、ご覧下さい

(3) ものづくりマイスターの働く職場での職場体験実習

★自ら事業を営んでいる「ものづくりマイスター」の事業所へ出向き、職場体験実習ができます。参加する生徒に対し職場ならではの「ものづくり体験」を含む2日以上職場体験実習を行います。

- 対象者・・・小中学校等の生徒
- 実施例・・・広告美術業（長崎市、時津町）、建設業（時津町）、畳製作事業所（大村市、長与町、）など

※ 上記に係る経費のうち、講師の派遣費用、材料費及び移動用バス借上げ費用等については当協会にて負担いたします。
なお、材料費は上限が定められています。

【お問い合わせ先】

長崎県職業能力開発協会 （長崎県地域技能振興コーナー）
〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷547-21
TEL：095-883-1671 / FAX：095-894-9972（担当：伊藤・三松）

活用例

ものづくりの現場で活躍するものづくりマスターの生の声を聞き、その技を直にみることは、子ども達が将来社会の中で自分の役割を見出し、自分らしい生き方を実現していく力を身につける上で、重要な経験、きっかけとなります。

★ケース1: 図工/技術科の時間として活用

- ・小学生:ミニチュアハウスの組立やのこぎり、金槌等を使って本立て・鉛筆立て等の製作体験をします。
- ・中学生:のこ引き体験やのこぎり、金槌、さしがね等を使ってカリキュラムに沿った内容を製作します。

建築大工のものづくりマスターが技を披露し、カンとコツを伝授します。

★ケース2: 総合学習時間として活用

- ・体育祭・文化祭・卒業式など催し物の展示物を製作。広告美術のものづくりマスターがプロのレタリングを指導します。
- ・卒業製作として:銅板に文字や絵を打ち出すことにより、記念に残る1枚を製作します。またはプランターボックスなど学校へ記念品として残せます。建築板金、建築大工等のものづくりマスターが丁寧に指導します。
- ・普段食べている手延べそうめんは20以上の工程を経て完成しています。製麺のものづくりマスターから製造工程や食品を作る大切さや工夫など話をきく事ができます。

★ケース3: 福祉の時間として活用

車いす体験、アイマスク体験等に加えて、実際に義肢・装具を製作しているものづくりマスターからやりがいや苦勞など生の声を聞き、福祉について学習します。

★ケース4: 職業講話として活用

ものづくりマスターを職業講話へ派遣いたします。生活をささえるものづくりの技術、仕事に力を尽くす「生き方」など職業人としての話をさせていただきます。

※経費について

講師の派遣費用(謝金・交通費)、ものづくり体験に係る材料費(1人あたり税込540円上限)、事業所見学に係る移動用バス借上げ費用等も当協会にて負担します。

※お申込みは別添の様式にてお申し込み下さい。

体験後に参加者名簿とアンケート(先生のみ)をご提出いただければ完了となります。

★ケース5: 家庭科の時間として活用

- ・和裁のものづくりマスターが、針と糸を使ってペットボトルカバーなどの小物製作体験を行います。ボタン付け、飾り縫い、返し縫い、まき縫いなど小物の製作を通して教えます。
- 小学校・中学校とも活用できます。

★ケース6: 親子レクレーションとして活用

- ・各学年で実施する親子レクレーションにもものづくりマスターを派遣します。親子一緒にものづくり体験をしませんか。
- ・参加者の人数や時間配分にあわせて、ものづくり体験をコーディネートします。

★ケース7: 教師の技術部会での研修会として活用

教科毎の各部会で実施する研修会等にもものづくりマスターを派遣します。
夏休み期間の研修会等にも活用できます。

★ケース8: 社会科見学として活用

南島原の製麺工場や陶磁器など社会科見学として利用できます。ものづくりマスターがいる事業所を訪問し、作業風景をみて、ものづくりのすばらしさを実感してもらいます。